

センター 月だより

《4月分の活動状況報告》

東濃西部少年センター

- 4月は平成22年度指導員、最後の活動月でした。皆様のこの1年間の活動に感謝申し上げます。おかげさまで3市を管轄する多治見警察署の平成22年度統計資料によれば非行行為の件数が減っており、我々の活動が非行行為に至る前の予防活動として、貢献しているものと考えております。引き続きこの活動を強かに継続してまいりたいと思います。

・ 主な地区別活動

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	合計
活動延べ回数	14	9	12	35
声かけ人数	322	54	125	501
指導人数	0	6	5	11
指導員参加人数	65	29	36	130

(指導日誌より)

- 多治見地区では学校の校門で先生方とあいさつ運動を行い、元気の良い生き生きした返事が返ってきたとの報告が届いております。
 - 瑞浪のゴールデンパークの地下道の落書きが少しずつ増えてきており、赤いコーンも散乱しており環境が悪化してきているように感じる。
 - 土岐津の高山城跡近くで、小学生が袋をかぶって遊んでいたため、危険な遊びであると指導。
- ### ・ 会議報告
- 第6回指導部役員会が4月8日に開催され、H22年度の総括を行いました。
 主な意見として、巡回指導の参加率を上げる方法として、巡回時間を柔軟に変えたり、前日にメール等で再確認している等の取り組みをしている報告がありました。
 また、センターからの確認事項ですが、今年度より指導用ベストを永久貸与とすることにいたしました。したがって、退任後の返却は必要なくなりました。
 現在、引き継ぎ等で傷んでいるベストを使用している場合は新しく貸与いたしますので地区役員に申し出ください。
- ### ・ 6月の行事予定
- 6月11日(土)新任指導員研修会(場所：まなびパーク)

少しずつの変化はわからない

何かが変わるとき、急に変わるのとはよく分かるけれど、少しずつ変わっていくときには、案外と感ぜないものです。例えば少しずつ環境が変わっていても、人には順応性があり、慣れてしまうのです。良い方向に少しずつ変わるのであればいいですが、悪い方向に少しずつ変わっていくのは困ったことです。ですから、どのように変化しているのかを常に見極めている必要があります。

世の中が少しずついい方向に変わっていくといいですね。

「生き方サプリメント101錠」第2集
 多治見市教育長 村瀬登志夫 著